

S S T K

社会福祉法人 埼玉のぞみの園

# 法人だより No.7

編集 埼玉のぞみの園法人本部 〒369-1105 深谷市本田 3343 編集責任者 理事長 山崎 勝  
発行 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 〒332-0011 川口市元郷 1-10-13

定価1部  
50円

平成25年2月〜6月  
ご協力  
ありがとうございました。  
順不同 敬称略

### ▼寄付者名簿

春日園グループ家族会  
新門峯子  
栗田絹代  
(株)アドバンテスト労働組合  
(有)中央自動車  
合名会社 斉藤商店  
フラダンスホヌホヌ 武政きくえ  
宝積寺  
斉藤志げ子  
大沢美和子  
グルメカラオケ ビックスター  
荻原泰佳  
荒井百合子

### ▼後援会ご協力者

森遠太郎 原田はるみ 飯島章徳 浜川次  
男 安藤文二 関根文字 太田武一 小林  
喜久江 長谷川高雄 大塚温 半戸頼信  
岡部忠子 脇節子 吉岡信雄 藤野一 青  
木勝英 萩原毅俊 田島美佐江 田島淳  
子 青柳聖紀 金野綾子 佐藤光雄 石川  
豊一 石井傳二 島田茂 杉田敏夫 長谷  
川富治 鈴木綱子 小林富士男 吉野幸男  
森直人 小内国靖 清水弘 早船洋吉 久

松貞子 阿部こま 瀬間儀明 加治修一  
新井玉枝 山下武昭 太田千代子 金井洋  
司 若井正弘 大塚通 海野富男 奥山つ  
や子 新井實 吉田雅秋 持田勝男 亀山  
昭一 利根川菊枝 戸谷やよひ 富岡高一  
田中實 石田誠蔵 渡辺一人 久保田悦雄  
菅原清 新井利朗 八木本行雄 松嶋守  
河野文祥 山中守 忍田美恵子 森喜久江  
矢口千鶴子 二階堂清江 栗田岩治 島村  
秀和 小林都 松葉正枝 田沼恵美子  
以上72名

▼埼玉のぞみの園後援会長は中  
村貫一氏が退任され、加藤義父  
氏が就任されました。

### 法人活動報告

平成25年4月〜6月

#### ●4月1日

・入社式行われる。新卒採用者5  
名(大卒2名・専門卒3名)を採  
用し、この日から3ヶ月の新入職  
員研修を行いました。



入社式で新卒採用者に向  
けて、挨拶をおこなう山  
崎理事長

#### ●4月26日

・第4回親睦ゴルフコンペが、児  
玉カントリーで行われました。当  
日は途中、カミナリがあるなど目  
まぐるしく変わる天候の中、22  
名の参加者の皆様と楽しい時間を  
過ごしました。ご参加ありがとうございました。



スタートホールで各組ごと  
恒例の記念撮影を行う。

#### ●5月25日

・平成24年度事業報告・決算報  
告を監事会・理事会で行い承認を  
得ました。

#### ●6月9日

・29回目となる法人レクリエー  
ション大会を深谷市ビックタート  
ルで行いました。2年前から土曜  
日開催が復活して、のぞみ深谷の  
ご利用者が今年も参加しました。  
・法人の大きなイベントの一つで  
ある法人職員交歓会がありました。  
埼玉グランドホテル深谷で法人職  
員・職員の子供、約60名が参加  
して、相互の交流を深めました。

#### ●6月28日

・3ヶ月の新入職員研修が終わる。  
法人全6事業所の現場実習、他法  
人研修、法人の歴史など様々な研  
修を終えて、7月1日から春日園  
2名・第2春日園2名・たんぽぽ  
1名の配属が決まりました。  
以上、この期間の法人の主な取  
り組みのご紹介でした。

#### ■今後の予定

・平成26年度新卒採用へ向けて  
の活動(説明会・面接試験など)  
・工賃向上マネージャー研修  
近隣4法人の職員が集まり、工賃  
アップに向けての研修を行います。  
・中堅職員研修

埼玉のぞみの園では、将来的な人  
材育成に目を向けた取り組みを行  
っていく予定です。

【編集後記】法人便り第7号の発行が大  
幅に遅れしまったことをお詫びさせていた  
だきます。今後は前任担当者から引き継いだ「法  
人便り」をより充実させ、遅れることのない  
ようにしていきたいと思っております。  
本号から、各事業所ニュース・理事長の伝  
えたいことなどを入れ、埼玉のぞみの園の日  
常の取り組みなどを中心に伝えてできればと  
思っています。 法人本部 橋本

## 平成24年度事業報告・決算報告!

### ●事業報告について

平成24年度の重点施策であ  
った「春日園改修計画」「人材育  
成のための取り組み」「相談支援  
事業の習熟」について、一定の  
成果をあげることができました。  
今後も法人として、人事考課制  
度の充実など人材育成に重点を  
おく必要があると考えます。ま  
た、25年度から新会計制度に  
移行するために8月から準備を  
進めた年度でした。

事業別では、就労継続Bの平  
均工賃は第2春日園27,34  
3円たんぽぽ12,157円・  
つくし10593円となりました  
た。埼玉県が提示したランク付  
けでAランクとなるのは第2春  
日園のみとなりました。各事業  
所では、農業・食品加工などで  
工賃アップに向けた見直し、強  
化を行いました。

生活介護ではQOLの向上を  
目指して、生活習慣の習得・機  
能訓練の充実・日中活動メニ  
ューの見直しを行いました。また、  
外部ボランティアをお招きして  
積極的に地域との交流を持ちま

### ●決算報告について

した。特に春日園では、洗濯支  
援・夜間排泄対応などご利用者  
の高齢化・身体機能低下に伴  
う支援が必要となってきたこと  
その対策に課題が残りました。

その他事業で目立った動きが  
あったのが、のぞみ深谷の放課  
後等デイと生活サポートでした。  
24年度平均利用者数が16名  
となり、23年度よりも平均で  
6名利用が増加しました。これ  
は、送迎加算サービス導入によ  
る利用者負担の軽減があげられ  
利用しやすい環境が整ったと言  
えます。しかし、個別支援計画  
の充実・学生アルバイトの確保  
では、課題が残りました。生活  
サポートは利用について行政か  
らの指導が厳しくなったことな  
どがあり、利用時間28%減・  
利用件数21%減となり、厳し  
い状況となりました。

のぞみの園ホームでは4月に  
定員の30名の入居となりました。  
また、共同募金様の補助を  
受け、4ホームにAEDを設置  
しました。

### ●監事会・理事会

平成25年5月25日(土)  
加藤監事・原口監事に平成24  
年度事業報告・決算報告を行い  
監事監査を受けました。

また、同日に行われた理事会  
で、監事監査で指摘された事項  
について、説明を行い、理事会  
の承認も得ました。

決算詳細については、別添の資料  
をご参考にしてください。



# 事業所の ニュース

## ●「はる工房」2周年

5月10日、当法人唯一の店舗である「はる工房」が2周年を迎えました。2周年記念として、5月末に、うどん100円引き・お子様にはお菓子のつかみ取りなどのイベントを行いました。また、夏に向けて、冷やしうどん(350円)を開始しました。皆様のご来店を心よりお待ちしております。



定食も始めました。日替わりパンもおすすめです。

## ●春日園改修工事進む。

春日園では今年度中に新たな建屋になります。8月初めには入札が行われ、建設会社が決まる予定です。法人便りでは今後も進行具合をお知らせする予定です。



納品のため、トマトを軽トラックに積み込むご利用者

## ●軽トラック頂きました。

3月、第2春日園は日本財団様から軽トラックをいただきました。この軽トラックは、第2春日園で栽培しているトマトの納品等に利用させていただいています。ありがとうございました。

## ●プール開き！

のぞみ深谷では7月から放課後等デイのご利用者を中心にプールを行っています。熱中症対策の1つとして行っています。子供たちの楽しそうな姿を見ると癒されることもあります。



この光景が9月初めまで続きます。熱中症対策に取り組んでいます！

## ●人参の収穫

妻沼つくし作業所では、5月〜6月の約2ヶ月間、毎年恒例となっている地元農家さんの人参収穫のお手伝いをしました。この時期は、ご利用者・職員が交替で収穫に行きます。暑い中での作業は大変ですが、農業の担い手となつていくと思うとやりがいのある仕事だと感じています。



農業派遣を通して地元妻沼に貢献！！



ふっかちゃんとコラボ！今後の取り組みにも期待を！！

## ●入社式理事長挨拶から...

本日皆さんをお迎えするにあたって、これからの仕事に対する指針をお伝えしたいと思います。園是でもある「健康・知悉・率先」心がけて頂きたいと思えます。なかでも支援員として知悉は最も大切であると考えています。物は作ればいいというものではありません、使う方がどう利用するか？どの様に出来るか？どの様な性質を持っているか？そういったことまで考えなければ良い商品が出来ないでしょう。物事を深く知れば知るほどその仕事は面白くなるのです。逆に分からなければその事は全くつまらないものになってしまいます。

福祉分野は人が対象のサービス業と言えらると思えます。「その彼等の人生をより有意義な人生へと変えるお手伝いが出来る仕事」そう考えると、私達の仕事は際限なく広がりを見せます。個々を見、改良改善を図り、利用者がより快適な生活を享受できるよう、皆さんの新鮮な発想と体力を是非發揮し、明日の埼玉のぞみの園を共に作って欲しいと思うのであります。(抜粋)

# 埼玉のぞみの園理事長山崎が 伝えたい話 第1回(障害者優先調達推進法)

## 1、はじめに

本年4月から国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律(以下障害者優先調達法と言ふ)が施行されました。このことは私達福祉施設関係者には大きなステップアップの機会と捉えております。

## 2、障害者就労施設の現状

埼玉県では工賃向上計画を25千円/月とし各種支援策を講じておりますが、現状は12千円をクリアしているにすぎません。月額2万円以上を支給している施設は16%程度にしか至っていないのが現状です。



当法人の理事長 山崎 勝

ではその原因はどこにあるのか？幾つかの原因を推察したいと思います。

- ①職員の数が足りない。
  - ②設備がない。
  - ③障害者に仕事が出来ない。
  - ④職員にスキルがない。
- 等々できない理由は一杯ありますが、では出来ることは何かを数え、考えることをあまりしていないのではないかと考えています。

## 3、作業性と収益性が課題

・自主製品については販路が最大の課題と言われ、また近年この施設でも同じようなものを作っており特殊性がなく、収益率アップにはなっていない。  
・委託作業については内職的な仕事が多く、低賃金で職員がその作業に参加して多少の売り上げを納めているのが現状と認識している。如何に企業にパートナーとして見ていただけるかが、最大の課題である。

・その他では近年労務提供(公園清掃や墓地、集合住宅の掃除、

公共施設の掃除など出てきている)の仕事が増加しつつあり、知的障害の方を中心に増加してきている。福祉の店も法人で立ち上げたお店が多く出店している。またその店では各地方の施設と提携し製品を陳列販売(仕入販売)しているところも見られるようになってきている。

## 4、働くというものは！

「働くことは人生の基本でありそのことは障害があろうとなかろうと同じである」と考えております。仕事であるなら継続した仕事を提供すべきであると考えます。イベントでの販売はあくまでも福祉施設の理解の為にを行うのであって、イベント販売で工賃を支給するというのは無策です。

## 5、障害者優先調達法に思う！

「共同(協業)でやるということと製造者責任」  
仕事は断ってはいけない！どうやったら出来るかを考えることが大切である！施設で出来ないものは複数の施設で行う。その為には地域施設間のネットワーク作りが欠かせないかも生まれません。福祉施設とはいえず

産元である以上は多くの責任が付いて回るものです。今後は障害者優先調達法をきっかけにコンプライアンスも含め、PL法保険加入など共有し合っていく必要があると思われまます。以上

## ●ご存知ですか？足こぎ車椅子

春日園では足こぎ車椅子を昨年2台購入しました。これが不思議な乗り物です。片麻痺の方や脳性麻痺の方がスイスイとこいで、約1キロある散歩コースを回ってきます。この車椅子に乗ると足が動くのです。リハビリにも効果があるそうです。皆様にも、この不思議な乗り物を知ってもらいたく、ご紹介させていただきました。

## ●学生アルバイト募集

のぞみ深谷では、学生アルバイトを募集しています。障害のあるお子様の支援にご興味のある方はのぞみ深谷までご連絡をお願いします。  
(問合せ)  
048-511-1714  
担当・泉まで